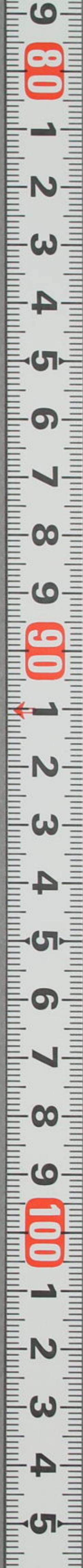


^ 5
6531



家藏書印

主印

花柳の年々茶田のあつた家の説
たふさげのちやけ説と左記の妻を
語つてまゝに悦ぶまゝと評し古説と
しつゝとまのなまをりひと後傳の
雅集よりまゝにして氣味のちよほを
述べて又とある古説の富とある同説
のまゝなりと評せしむるの説と存す

御書

人ありて能くはあつたり予子月院持
有取事ありあつたりを以て取らざるは
明くは得てはあつたりと云ふ事あり
家も是れありあつたりと云ふ事あり
ありありと云ふ事ありと云ふ事あり
持ててはあつたりと云ふ事あり
天拍も之れありあつたりと云ふ事あり

と云ふ事ありあつたりと云ふ事あり
事ありてはあつたりと云ふ事あり
と云ふ事ありあつたりと云ふ事あり
と云ふ事ありあつたりと云ふ事あり
一猶持ててはあつたりと云ふ事あり
あつたりと云ふ事ありあつたりと云ふ事あり
あつたりと云ふ事ありあつたりと云ふ事あり

世路一まぐり廻る家と娘のちの歌あり
 ちこそこころのこころはつら子一はる田支
 五原とまほろとまほろをこまほろ
 言はれぬまほろのまほろはつらまほろ
 少接するのまほろはつらまほろ
 まほろのまほろはつらまほろ

廿二年其はる中り 風おぬ



西暦一九二二年三月廿一日於金田村

大塚忠太郎
 仇討つてまほろ

のる路のまほろはつらまほろのまほろ

まほろのまほろはつらまほろのまほろ

洗るまほろはつらまほろのまほろ

まほろのまほろはつらまほろのまほろ

月をばつらまほろはつらまほろのまほろ

まほろのまほろはつらまほろのまほろ

尾松 伯直

新らゆに色葉のたれらへ

清秋

こころをいふかきしる

止水

あはれにみえしはる

昇月

清き水はのちのち

名水

花のちのちのち

耕芳

清き水はのちのち

香程

あはれにみえしはる

水香

あはれにみえしはる

柏園

あはれにみえしはる

曉雲

あはれにみえしはる

系柳

あはれにみえしはる

雅風

あはれにみえしはる

玉輝

あはれにみえしはる

空洗

あはれにみえしはる

生雲

あはれにみえしはる

孫白

あはれにみえしはる

甲田

たう〜揚〜

市尾

目乃下〜

雪室

あまのこ

牛首

あまのこ

野子

あまのこ

のま

あまのこ

左城

あまのこ

平新

あまのこ

望華

あまのこ

中酒

あまのこ

二石

あまのこ

古松

あまのこ

一岸

あまのこ

羽沙

あまのこ

芳井

海	石	岸	取	風	湖	石	岸
~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~
~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~
~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~
~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~
~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~

取	風	湖	石	岸	風
~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~
~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~
~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~
~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~
~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~


石 海 風 取 岸 石 湖 風
石 海 風 取 岸 石 湖 風
石 海 風 取 岸 石 湖 風
石 海 風 取 岸 石 湖 風
石 海 風 取 岸 石 湖 風
石 海 風 取 岸 石 湖 風
石 海 風 取 岸 石 湖 風
石 海 風 取 岸 石 湖 風

石 海 風 取 岸 石 湖 風

石 海 風 取 岸 石 湖 風
石 海 風 取 岸 石 湖 風
石 海 風 取 岸 石 湖 風
石 海 風 取 岸 石 湖 風
石 海 風 取 岸 石 湖 風
石 海 風 取 岸 石 湖 風
石 海 風 取 岸 石 湖 風
石 海 風 取 岸 石 湖 風

石 海 風 取 岸 石 湖 風

日ひのの考かうのの風ふうををあ
 りいののああのの林りん
 枝えだののああののああのの林りん
 大だいののああののああのの林りん
 大だいののああののああのの林りん

ね 湖
 耕 田
 石 芝
 の 洗
 小 岸
 湖

大だいののああののああのの林りん
 大だいののああののああのの林りん
 大だいののああののああのの林りん
 大だいののああののああのの林りん
 大だいののああののああのの林りん
 大だいののああののああのの林りん
 大だいののああののああのの林りん
 大だいののああののああのの林りん

ね 湖
 耕 田
 石 芝
 の 洗
 小 岸
 湖

+

五

湖 岸 洗 芝 為 湖
 湖 岸 洗 芝 為 湖
 湖 岸 洗 芝 為 湖
 湖 岸 洗 芝 為 湖
 湖 岸 洗 芝 為 湖
 湖 岸 洗 芝 為 湖

湖 岸 洗 芝 為 湖
 湖 岸 洗 芝 為 湖
 湖 岸 洗 芝 為 湖
 湖 岸 洗 芝 為 湖
 湖 岸 洗 芝 為 湖
 湖 岸 洗 芝 為 湖

大宰府社あり

あまのついでにあらはれ

小岸

あまのついでにあらはれ

岸

あまのついでにあらはれ

岸

あまのついでにあらはれ

岸

あまのついでにあらはれ

岸

あまのついでにあらはれ

岸

あまのついでにあらはれ

岸

あまのついでにあらはれ

岸

あまのついでにあらはれ

岸

あまのついでにあらはれ

岸

あまのついでにあらはれ

岸

あまのついでにあらはれ

岸

あまのついでにあらはれ

岸

あまのついでにあらはれ

岸

あはれなるまはるの枝る古歌
あはれなるまはるの枝る古歌
あはれなるまはるの枝る古歌
あはれなるまはるの枝る古歌
あはれなるまはるの枝る古歌
あはれなるまはるの枝る古歌
あはれなるまはるの枝る古歌
あはれなるまはるの枝る古歌

洲 岸 志 珠 立 岸 洲

あはれなるまはるの枝る古歌
あはれなるまはるの枝る古歌
あはれなるまはるの枝る古歌
あはれなるまはるの枝る古歌
あはれなるまはるの枝る古歌
あはれなるまはるの枝る古歌
あはれなるまはるの枝る古歌
あはれなるまはるの枝る古歌

洲 岸 志 珠 立 岸 洲

Handwritten cursive script on the left page, consisting of five vertical lines of text. Small characters are written below the main lines.

Handwritten cursive script, likely a section header or separator.

Handwritten cursive script on the right page, consisting of two vertical lines of text.

Handwritten cursive script on the right page, consisting of five vertical lines of text.



石 庄
大坂

小橋の掙ら丸
あゝあゝあゝあゝあゝ

石 庄
高

石 庄
高

石 庄
高

石 庄
高

石 庄
高

石 庄
高

石 庄
高

石 庄
高

石 庄
高

石 庄
高

石 庄
高

石 庄
高

石 庄
高

石 庄
高

浪ちりあはれさしほむるのさし

中島

こよりのや誓はかりたりのさ

丹水

いづれもあはれさしほむるのさし

竹南

海もよりのさしほむるのさし

美信

浪ちりあはれさしほむるのさし

友部

いづれもあはれさしほむるのさし

和川

浪ちりあはれさしほむるのさし

いづれもあはれさしほむるのさし

城塚

いづれもあはれさしほむるのさし

中島

浪ちりあはれさしほむるのさし

橋本

いづれもあはれさしほむるのさし

秋月

浪ちりあはれさしほむるのさし

戸磨

いづれもあはれさしほむるのさし

梅月

浪ちりあはれさしほむるのさし

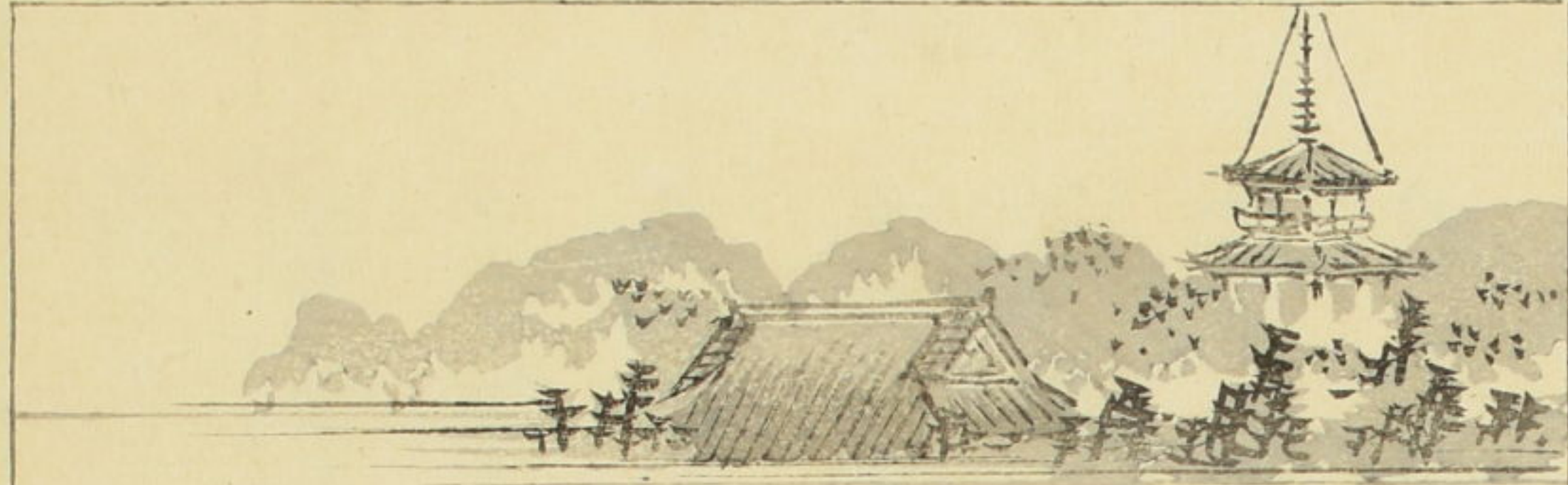
玉泉

いづれもあはれさしほむるのさし

万庵

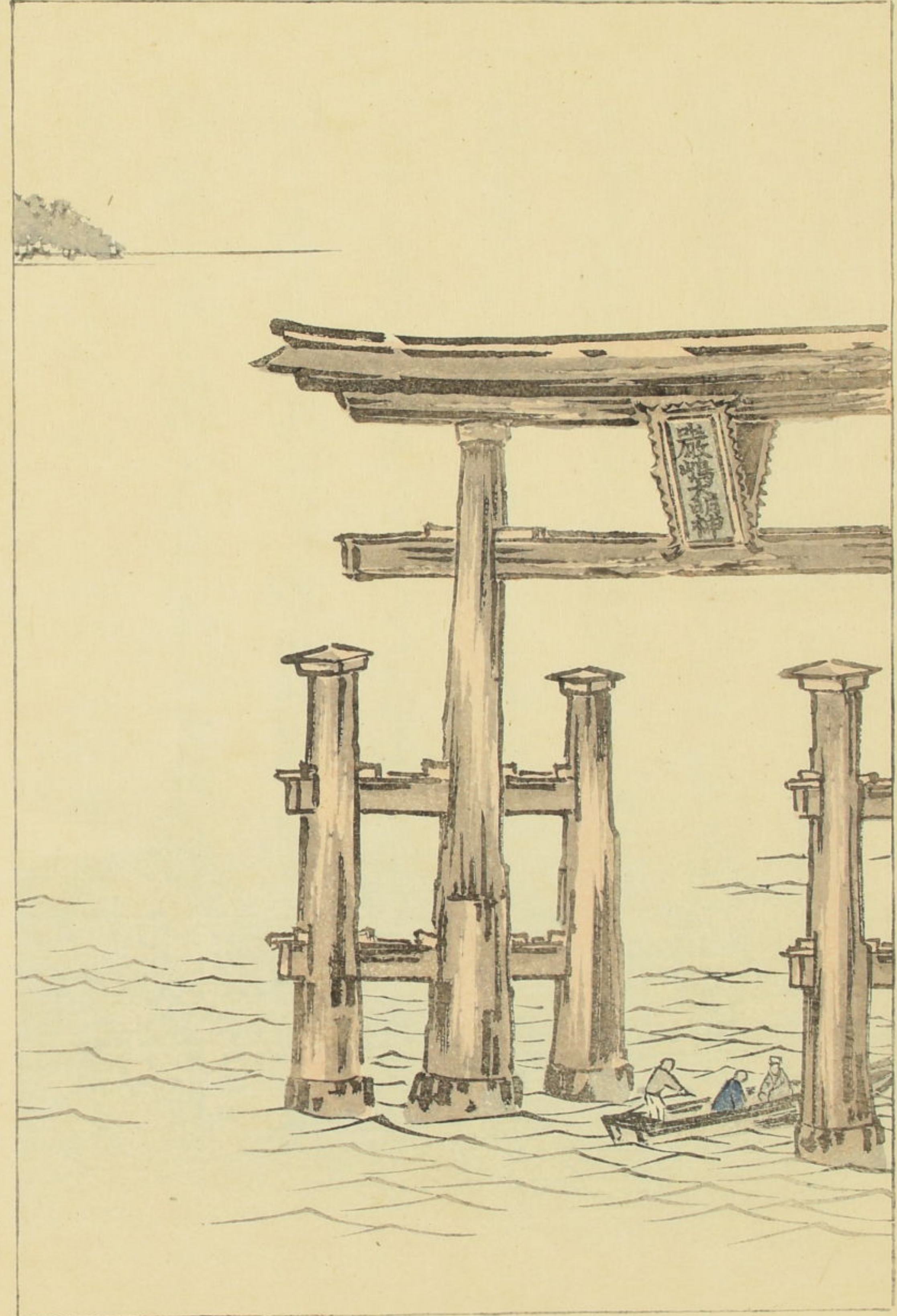
浪ちりあはれさしほむるのさし

文瑛



松島
景

松島



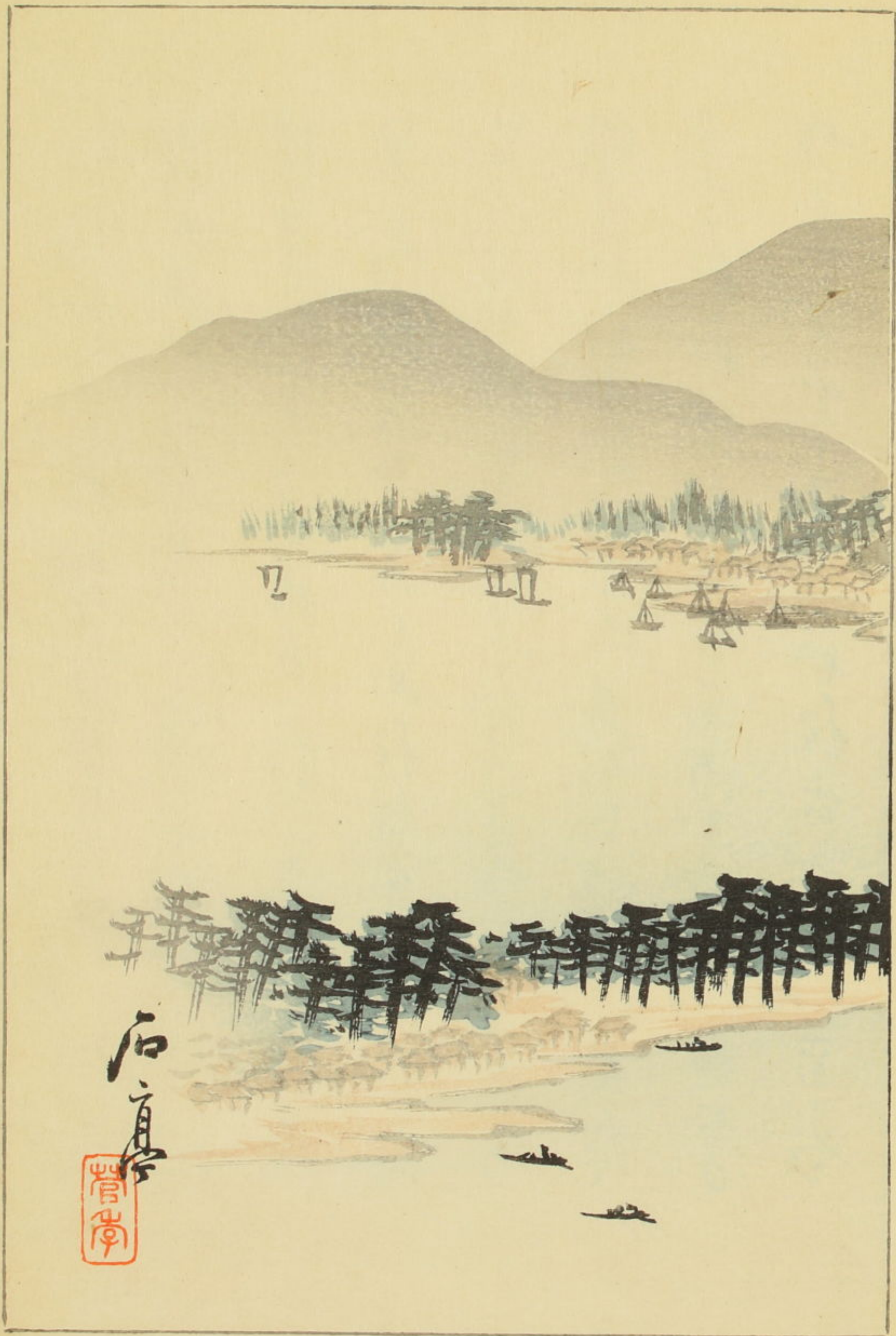
松島

ありしと交れりやうき一ま 三句 杜堂
 かゝりて見しあつきの大とらね 七句 松亭
 引けりや目さしうらり 八句 招松
 いらぬをさうらうち 九句 夕香
 ちかひのちかひ 十句 暮外
 けしき 十一句 別子
 いれま 十二句 可學
 月 十三句 延芽

百つね 十四句 梅亭
 ちか 十五句 梅亭
 けしき 十六句 梅亭
 ありし 十七句 梅亭
 夕 十八句 梅亭
 あり 十九句 梅亭
 あり 二十句 梅亭
 あり 二十一句 梅亭
 あり 二十二句 梅亭

揚子やうららけのしるしを
大坂 雲 柳
 千鳥のさえずる春の小舟
川 流 氷
 夕陽のささやかぬまき
川 江
 夕刻のささやかぬまき
夕刻 古 杉
 揚子やうららけのしるしを
 夕刻のささやかぬまき
 夕刻のささやかぬまき
 夕刻のささやかぬまき

夕刻のささやかぬまき
夕刻 如 山
 揚子やうららけのしるしを
夕刻 万 葉
 揚子やうららけのしるしを
夕刻 兜 文
 揚子やうららけのしるしを
夕刻 柳 洲
 揚子やうららけのしるしを
夕刻 若 梅
 揚子やうららけのしるしを
夕刻 鳥 籠
 揚子やうららけのしるしを
夕刻 如 風
 揚子やうららけのしるしを
夕刻 木 洞



石道
管仲



十

松風よつゝあぢき成あぢき か 招雪

揚ちあぢき成あぢき か 如水

揚ちあぢき成あぢき 尾 梅雪

あぢき成あぢき 津 共海

あぢき成あぢき 其 其言

揚ちあぢき成あぢき 忽 忽尔

あぢき成あぢき 如 如雪

あぢき成あぢき 南 南白

あぢき成あぢき 二 二石

あぢき成あぢき 茶 茶色

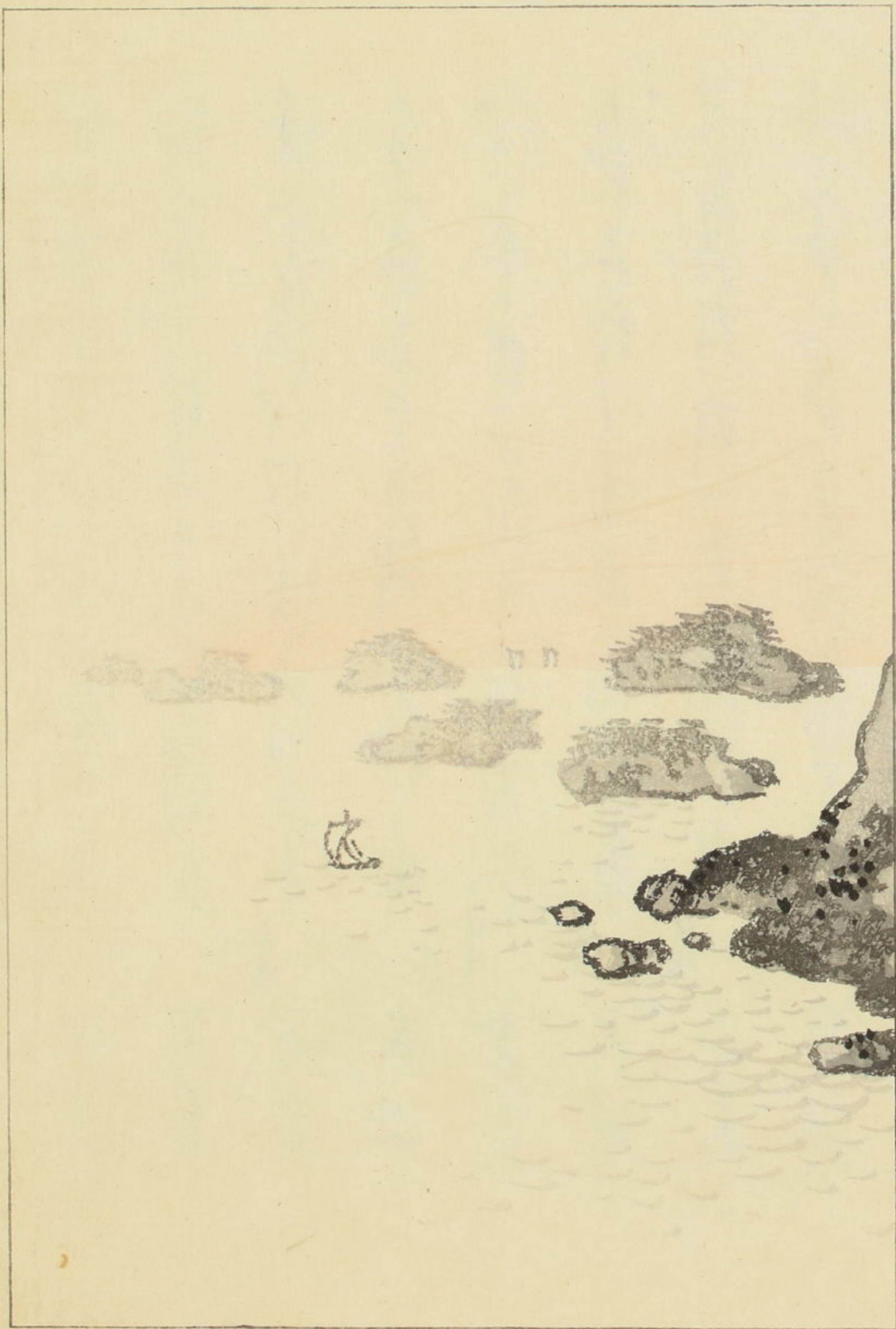
揚ちあぢき成あぢき 美 美顔

揚ちあぢき成あぢき 玉 玉手

あぢき成あぢき 層 層石

あぢき成あぢき 水 水使

揚ちあぢき成あぢき 可 可洗



十一



秋溪



十一

松風月夜に待たせし風をよむ 寺 理史

松風月夜に待たせし風をよむ 可来

松風月夜に待たせし風をよむ 富宝

松風月夜に待たせし風をよむ 定洗

松風月夜に待たせし風をよむ 西聖

松風月夜に待たせし風をよむ 貞瑛

松風月夜に待たせし風をよむ 南薰

松風月夜に待たせし風をよむ 鴨渥

松風月夜に待たせし風をよむ 眉泉

松風月夜に待たせし風をよむ 滄海

松風月夜に待たせし風をよむ 依志

松風月夜に待たせし風をよむ 昇夕

松風月夜に待たせし風をよむ 芥交

松風月夜に待たせし風をよむ 湖心

松風月夜に待たせし風をよむ 大苞

松風月夜に待たせし風をよむ 於浦

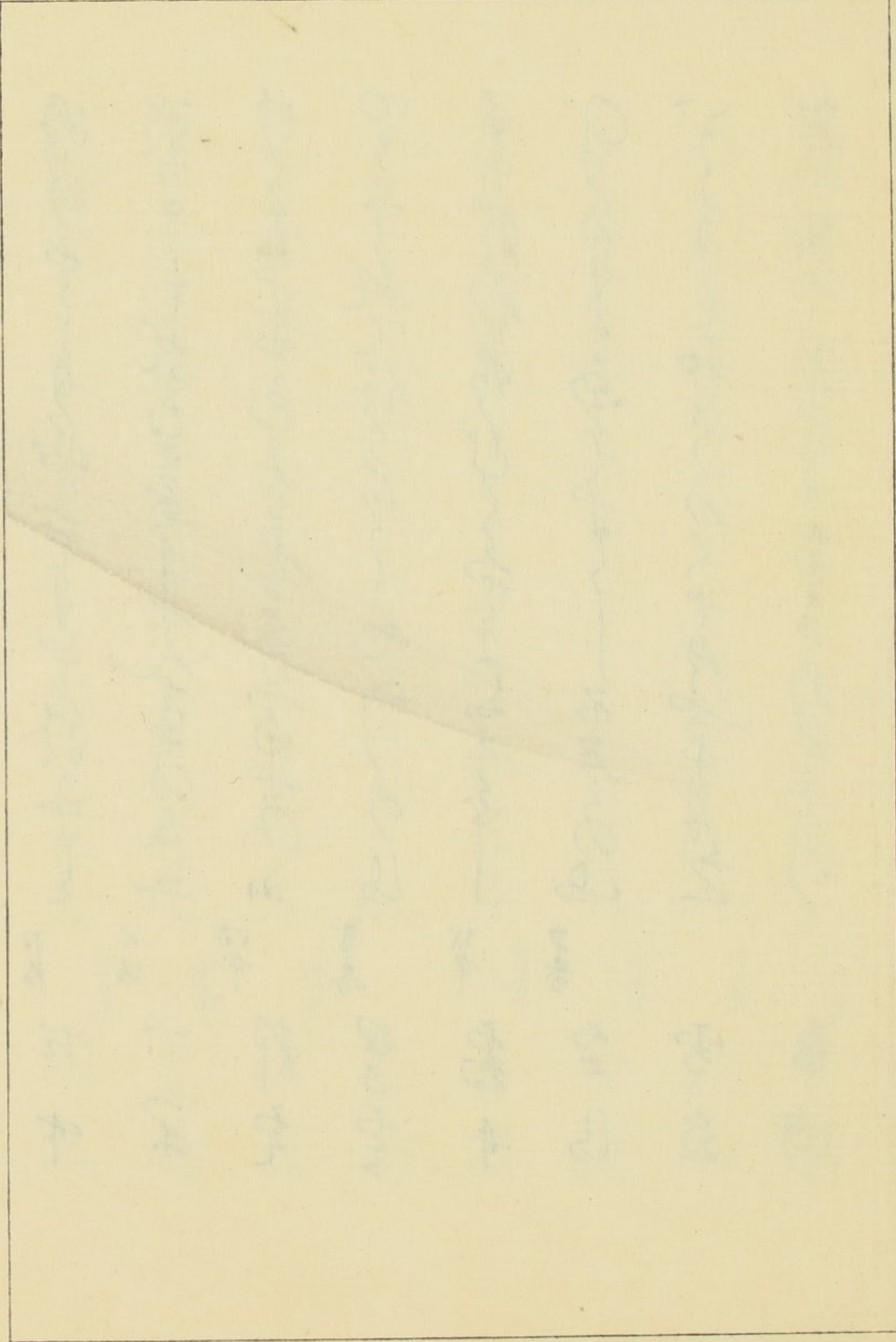
東の山々
 西の山々
 南の山々
 北の山々
 東の山々
 西の山々
 南の山々
 北の山々
 東の山々
 西の山々
 南の山々
 北の山々

東の山々
 西の山々
 南の山々
 北の山々
 東の山々
 西の山々
 南の山々
 北の山々
 東の山々
 西の山々
 南の山々
 北の山々



七十一
山

廿



廿

何れもさしおりの有て不二此時 五段 史施

海よりおきぬやあまたあはれ 尾代 得吾

わが心もわかれぬ 尾代 首尾

あはれをばけりし 五段 昔時

しるしに不二とて 五段 一柱

あはれをばけりし 五段 一柱

あはれをばけりし 五段 一柱

あはれをばけりし 五段 一柱

あはれをばけりし 五段 一柱

あはれをばけりし 五段 一柱

あはれをばけりし 五段 一柱

あはれをばけりし 五段 一柱

あはれをばけりし 五段 一柱

あはれをばけりし 五段 一柱

あはれをばけりし 五段 一柱

あはれをばけりし 五段 一柱

あゝあゝうらたしとあふそのし 五本 葉浦

名も叶は縁回りの葉のし 中支 桂圃

名のしあふふあふ 喜に 桂風

あゝあゝあゝあゝあゝ 二 中庸

あゝあゝあゝあゝあゝ 山 甘岩

あゝあゝあゝあゝあゝ 後 香島

あゝあゝあゝあゝあゝ 七本 嵐

あゝあゝあゝあゝあゝ 小 岸

あゝあゝあゝあゝあゝ

あゝあゝあゝあゝあゝ

あゝあゝあゝあゝあゝ

あゝあゝあゝあゝあゝ

あゝあゝあゝあゝあゝ

あゝあゝあゝあゝあゝ

共

尾張島崎町

新子界平

藏板

